

## 第三編 熊本城下町

## 第一章 城下町の形態

## 第一節 城下町の景観

史料番号	表題	日付	頁
265	肥後御入国宿割帳	寛永九年十一月廿八日	3
266	熊本町小路の次第	(年月日欠)	28
267	御国中人数の事	宝暦四年八月	36
268	御城本丸より三丁四方方角見合せ	(年月日欠)	37
269	熊本城下惣坪数の覚	安永六年六月	38
270	御城外御櫓、府中冠木門・須戸・辻番所・川橋数帳	(年月日欠)	43
271	長六橋掛け直し延引についての覚	正徳二年九月	49
272	長六橋橋掛け役再任についての覚	(享保五年)正月	50
273	寺原大工町土橋掛け直し積帳	慶応元年六月	51
274	御府中板橋・土橋の石橋仕替の事	(年月日欠)	54
275	郭内の水道埋め戻しについての覚	(享保九年)辰ノ八月	56
276	藩主綱利を八景水谷御茶屋でもてなし	元禄九年正月	57
277	六ヶ所の御茶屋廃止の覚	(正徳二年)七月	60
278	水前寺御茶屋の泉水修理	(享保五年)七月十九日	62
279	新免武蔵塚の事	宝暦三年	64

## 第二節 城下の防火と警備

史料番号	表題	日付	頁
280	坪井・寺原方面火事の時出合いの衆	寛永拾三年十月十二日	67
281	火事の時城内・城下所々受持ちの衆	寛永廿年三月朔日	67
282	火事の時所々受持ちの衆	寛永廿年三月朔日	71
283	火事の時受持ちの所付	正保四年四月十三日	72
284	火事の時火消し方の仕法	(明和七年)七月	73
285	町火消しの円居	(安永十年)正月晦日	74
286	御府中出火の時御奉行出馬	(寛政十年)二月	75
287	御曲輪内出火の時出役の仕法	(文化十年)酉十一月	77
288	寛文四年以降の火事場勤録	天保十五年十一月	78
289	御府中警備筋の覚	(慶応三年)正月	84

## 第三節 侍屋敷

史料番号	表題	日付	頁
290	知行高別屋敷割りの覚	(年月日欠)	87
291	細川刑部少輔上下の屋敷間数の覚	寛文三年十二月八日	88
292	御花畑屋敷惣坪数の覚	(宝暦八年)寅三月廿九日	98
293	本山御屋形跡床畝物上納願	嘉永四年六月	98
294	細川刑部少輔下屋敷坪付の覚	安政三・四年	100
295	細川刊部少輔下屋敷床地諸懸り物の覚	安政四年十月	103
296	細川刊部少輔下屋敷坪付帳	安政四年十月	104

## 第四節 町屋敷

史料番号	表題	日付	頁
297	新大工町屋敷に渡し申す覚	正保三年七月廿六日	106
298	新桶屋町清助家屋敷売渡証文	天保十三年九月	106
299	新桶屋町清助家屋敷売渡証文	天保十三年九月	107
300	家屋敷引当て証文	文久元年酉六月	107
301	西唐人町見図帳	文久元年酉正月	108

## 第二章 武士の社会と生活

## 第一節 知行と相続

史料番号	表題	日付	頁
302	大木舎人知行所池上村取調べ一件	寛永十一年～安政五年	149
303	細川忠興知行宛行状	慶長七年八月十一日	156
304	細川忠興知行宛行状	慶長八年九月十日	156
305	細川忠興知行宛行目録	慶長八年九月十日	156
306	細川忠興知行宛行状	慶長八年九月十六日	157
307	細川忠利替知行宛行状	元和七年七月廿一日	157
308	細川忠利替知行宛行目録	(元和四・五年)	157
309	細川忠利加増知行宛行状	寛永七年正月廿日	158
310	細川忠利知行宛行状	寛永拾年九月朔日	158
311	細川光貞(光尚)知行宛行状	寛永拾八年八月朔日	158

史料番号	表題	日付	頁
312	細川綱利知行宛行状	寛文元年八月五日	159
313	細川宗孝知行宛行状	享保十九年正月十八日	159
314	志水主水拝領知行所付目録	享保十九年九月十五日	159
315	志水主水拝領知行所付目録	享保十九年九月十五日	160
316	細川重賢知行宛行状	寛延元年九月朔日	161
317	志水七之允拝領知行引渡し差紙	(明和四年)亥九月廿五日	162
318	細川治年知行宛行状	天明六年九月朔日	162
319	細川齊茲知行宛行状	天明八年九月十八日	163
320	細川齊樹知行宛行状	文化九年十一月廿七日	163
321	細川齊護知行宛行状	文政九年九月十八日	163
322	志水卯納拝領知行引渡し差紙	(文政十年)亥十二月十八日	163
323	志水新太郎拝領知行引渡し差紙	(嘉永七年)寅九月十五日	164
324	細川慶順知行宛行状	万延二年三月朔日	165
325	志水家知行所灰塚村免請け状	貞享五年十月十八日	165
326	志水家知行所大池村免請け状	貞享五年十月十八日	165
327	志水家知行所川部村出分免請け状	貞享五年十月十八日	166
328	志水家知行所辻村免請け状	貞享五年十月	166
329	志水家屋敷分請負年貢内訳の覚	辰ノ正月十五日	167
330	志水家借銀年賦返済の覚	(年月日欠)	167
331	毛利輝元知行宛行状	天正十三年六月五日	167
332	細川忠利知行宛行状	寛永貳年七月廿一日	168
333	細川忠利知行宛行状	寛永九年五月五日	168
334	細川忠利知行宛行状	寛永拾年九月朔日	168
335	細川光貞(光尚)知行宛行状	寛永拾八年八月朔日	168
336	細川光貞(光尚)知行宛行状	寛永拾八年八月朔日	168
337	山崎久丞拝領知行所付目録	承応三年十月廿五日	169
338	山崎傳左衛門拝領知行引渡し差紙	(明暦元年)未ノ十一月十六日	169
339	細川綱利知行宛行状	寛文元年八月五日	170
340	細川綱利知行宛行状	寛文十一年十二月五日	170
341	山崎角左衛門拝領知行所付目録	寛文十二年閏六月六日	170
342	細川綱利加増知行宛行状	天和二年二月十五日	171
343	山崎傳左衛門拝領加増知行所付目録	貞享元年五月十五日	171
344	山崎傳左衛門拝領知行所付目録	貞享元年五月十五日	171
345	細川綱利加増知行宛行状	貞享四年十二月廿九日	172
346	山崎傳左衛門拝領加増知行所付目録	貞享五年二月四日	172
347	山崎傳左衛門拝領加増知行所付目録	貞享五年二月四日	173
348	細川宣紀知行宛行状	正徳六年二月十八日	173
349	細川宗孝知行宛行状	享保十九年十一月朔日	173
350	細川重賢知行宛行状	寛延元年九月朔日	174
351	山崎惣兵衛拝領知行所付目録	安永七年四月廿五日	174
352	細川治年知行宛行状	天明六年九月朔日	175
353	山崎惣兵衛拝領知行所付目録	天明六年九月朔日	175
354	細川齊茲知行宛行状	天明八年九月十八日	176
355	山崎角弥拝領知行所付目録	寛政元年九月十日	176
356	細川齊樹知行宛行状	文化九年九月十八日	177
357	山崎角弥拝領知行所付目録	文化九年九月十八日	177
358	山崎五郎右衛門拝領知行所付目録	文政八年八月十四日	178
359	山崎隼雄拝領知行引渡し差紙	(文政九年)戌十二月三日	178
360	細川齊護知行宛行状	文政九年十二月廿三日	179
361	山崎隼雄拝領知行所付目録	文政九年十二月廿三日	179
362	山崎直彦拝領知行引渡し差紙	(天保五年)午九月廿八日	180
363	細川慶順知行宛行状	万延二年三月朔日	180
364	尾本家先祖付	(延享四年～明治九年)	180
365	嗣蔭令	(年月日欠)	183
366	家中式法・江戸詰格式並びに軍備の事	享和元年・文化十二年	191
367	御書出頂戴の御式	(文久元年)	201

## 第二節 武士の事件

史料番号	表題	日付	頁
368	追腹の衆妻子並びに兄弟付	(寛永十八年)巳ノ六月十七日	206
369	阿部権兵衛下々召籠め置く者の覚	(寛永二十年)二月廿六日	210
370	火事・喧嘩・取籠者・走者への対処の覚	寛永廿年三月十四日	212
371	大塚仙之助・伊藤石之助列一件口書	(天保七年)	213
372	大塚仙之助・伊藤石之助列一件判決書	天保七年・嘉永四年	224

## 第三節 武士の生活

史料番号	表題	日付	頁
373	御知行取四百石以下一ヶ年暮し方大数見積りしらべ帳	(文化十一年)六月	227
374	一ヶ年御扶持方しらべ帳	(文化十一年)	235
375	御銀拝借願面付帳	(文化二年)丑十二月	241

史料番号	表題	日付	頁
376	在宅願頭書	(宝暦五年～天保十四年)	245
377	飽田・詫摩両郡在宅仕法替えについての達	(年欠)閏九月十一日	264
378	佐藤虎之助定在宅知行地の由来	享保九年・宝暦八年・安永八年	265
379	侍衆野屋敷拝領について村方庄屋申上げ覚	寛政七年四月	272
380	家中新開についての達	(文化二年)十一月	273
381	家中地子内作年貢不納について内意の覚	安政四年九月	277

#### 第四節 堀部家に見る武士の生活

史料番号	表題	日付	頁
382	堀部甚丞手取米請取方について差出	天和三年	280
383	堀部家諸書留	(貞享四～五年)	281
384	堀部家諸書留	(元禄二～五年)	301
385	浅野内匠頭家来共討入りについて口上書	元禄十五年極月日	323
386	浅野内匠頭家来共へ達	(元禄十六年)未ノ二月四日	323
387	堀部弥兵衛妻子引取り所書付	(年月日欠)	324
388	安政五年出納覚	安政五年	324
389	安政六年出納覚	安政六年	325
390	万延元年出納覚	万延元年	325
391	文久元年出納覚	文久元年	326
392	慶応二年出納覚	慶応二年	327
393	明治二年出納覚	明治二年	328
394	明治五年出納覚	明治五年	328
395	明治十年出納覚	明治十年	329
396	明治十一年出納覚	明治十一年	330
397	明治二十年出納覚	明治二十年	331

### 第三章 町方の支配

#### 第一節 町方の支配

史料番号	表題	日付	頁
398	熊本町奉行宛達	(寛永十二年)亥九月十一日	332
399	国中・町中への書出	寛永拾二年十一月十三日	332
400	両替・商札についての覚	(年月日欠)	333
401	札銭不要の覚	寛永十六年三月八日	333
402	町中支配方について老中への伺	正保二年三月四日	334
403	町中支配方について老中への伺	正保二年十一月十五日	335
404	町中支配方について老中寄合への伺	正保三年七月六日	335
405	町中支配方について上意の覚	正保四年三月十日	338
406	町中支配方について老中への伺	慶安二年二月廿五日	339
407	町中支配方について老中寄合への伺	慶安四年八月廿日	340
408	町中支配方について老中寄合への伺	承応元年十月廿四日	340
409	町中支配方について老中寄合への伺	(年欠)七月五日	342
410	町中支配方について老中寄合への伺	(年欠)七月	344
411	町中支配方について老中への伺	寛文三年七月廿九日	345
412	市中風俗取締り方報告書	弘化三年七月	345
413	市中風俗取締り方改革意見書	(弘化三年)午九月	354

#### 第二節 町役人の記録

史料番号	表題	日付	頁
414	荒木家の記録(二番)	(文政四年四月～同十一年十二月)	370
415	荒木家の記録(三番)	(文政十二年正月～天保三年七月)	424
416	荒木家の記録(六番)	(天保十二年閏正月～弘化四年十二月)	463
417	荒木家の記録(八番)	(嘉永七年四月～安政五年十二月)	510
418	荒木家の記録(十二番)(抄)	(明治元年十月～同二年十二月)	550

### 第四章 商工業と市場

#### 第一節 商業と商人

史料番号	表題	日付	頁
419	高橋町への条々	寛永九年十二月廿五日	567
420	川尻新市の事	寛十四(年)二月朔日	568
421	長崎買物についての覚	(寛永十五年八月八日)	568
422	川尻馬市の事	(寛文五年八月)	569
423	鉄商売について鍛冶職よりの願	寛文七年三月十一日	569
424	諸物品留荷についての達	延宝四年八月廿六日	570
425	大坂天野屋利兵衛綿商売について達の覚	(元禄三年)午ノ十一月廿五日	571

史料番号	表題	日付	頁
426	領内紙・楮売買についての触状	(宝永三年)戊正月十一日	572
427	御国鯨油座本の覚	(宝永四年)三月十日	573
428	御国の産物商売品々の覚	(享保二十年)八月廿七日	575
429	御領内商人唐物売買の事	享保五年八月日	579
430	揚酒本手借受けの届	宝暦十三年正月	586
431	川尻中町商札質入れ者の差出	(年欠)子二月	587
432	熊本町の酒・魚・野菜類・呉服物売上げ高の覚	天明五年八月	588
433	造酒屋中申し談じの定め	寛政元年酉九月	589
434	武器一式仕入れ方のため銀拝借願	(寛政六年)寅五月	589
435	他国武家定宿零落のため御心付け米の願	(寛政七年)卯十月	591
436	国産葉種交易についての覚	(享和元年)二月	592
437	延葉たばこの舟賃増し方の願	(享和元年)酉七月	592
438	小寺家家格永代記録	享和四年子正月	593
439	通荷物受込問屋名付	(文化元年～文政五年)	608
440	熊本領内にて富山葉売買許可の達	(文化十四年)丑四月十三日	615
441	富山葉売買許可についての請書	文化十四年丑九月	616
442	御國中商売株の覚	(文化十五年)五月十日	617
443	富山葉肥後国株札名前の覚	(年月日欠)	618
444	熊本領富山葉場所・商人書上	天保十三年八月	618
445	富山葉諸組出納書付	(年月日欠)	619
446	熊本府中小路町々並びに産物付	天保十五年辰二月	620
447	御国通商人並びに直仕入株人名付	弘化二年巳十月	623
448	酒造米割賦明細帳	文久二年戊正月	647
449	野菜市場開設について申上げ覚	明治二年十二月	652

## 第二節 城下町人の建議

史料番号	表題	日付	頁
450	新三丁目杵右衛門尉の差出	承応三年正月廿六日	657
451	新三丁目仁右衛門尉の差出	承応三年正月廿六日	657
452	古町久右衛門の差出	承応三年正月廿六日	657
453	古町藤兵衛の差出	承応三年正月廿六日	658
454	油屋吉十郎の差出	(承応三年)午ノ正月廿六日	658
455	新二丁目徳左衛門尉の差出	承応三年正月廿七日	659
456	古町又右衛門尉の差出	承応三年正月廿七日	659
457	古町治部の差出	承応三年正月廿七日	660
458	細工町徳永の差出	承応三年正月廿七日	661
459	細工町理兵衛の差出	承応三年正月廿七日	661
460	住吉屋助大夫の差出	承応三年正月廿七日	662
461	米屋権兵衛の差出	(承応三年)午正月廿七日	662
462	新二丁目米屋伝左衛門尉の差出	承応三年正月廿八日	662
463	古町市左衛門尉の差出	承応三年正月廿八日	663
464	古町長左衛門の差出	承応三年正月廿八日	664
465	新三丁目市左衛門尉の差出	承応三年正月晦日	664
466	いつのや次右衛門の差出	承応三年正月卅日	665
467	某差出	承応三年正月卅日	665
468	二丁目善右衛門尉の差出	(年月日欠)	665
469	町人存じ寄りの差出	(年月日欠)	666

## 第三節 諸職人

史料番号	表題	日付	頁
470	御筒細工小屋建て方の願	享保十九年二月	668
471	諸職人手間料しらべ	宝暦三年六月	669
472	御用白塩硝焼き場増し方の願	宝暦十一年	670
473	市原屋造酒奉公人給銀書出	寛政二年戊十一月	677
474	職人総人数しらべ	(文化十一年)二月	678
475	川尻御作事所諸職人作料米	文化十一年八月	678

# 第五章 物価と金融

## 第一節 米相場

史料番号	表題	日付	頁
476	元禄以来御双場控	(元禄元年～文久元年)	679
477	城下問屋共米双場定め	(寛文十一年)亥ノ十一月廿日	699
478	米双場定めについての覚	(延宝三年)六月	699
479	米双場についての覚	天和元年・三年	700
480	諸取立銭・年貢銀納め方についての覚	(安永五年)十一月	700

## 第二節 諸色相場

史料番号	表題	日付	頁
481	諸色値段下げのため町横目増員の覚	元文元年十一月	702
482	諸色相場付	(享和元年)四月	705
483	裏京町伊勢屋庄兵衛褒賞申請の覚	(文政二年)十月	706
484	米穀下落について諸色値段下げの覚	天保十一年子四月	708
485	諸色値段元町人名付	(天保十三年)	743
486	諸色受込町人名付	明治三年午四月	747

### 第三節 金銀銭相場

史料番号	表題	日付	頁
487	銭遣いについての覚	(元禄八年)十二月廿九日	750
488	諸国銭双場書上げ	元禄十六年十一月	751
489	銭遣いについての覚	(元禄十六年)十一月	751
490	銭遣いについての触状	宝永四年十二月十日	752
491	町中銭遣いの儀について田邊平助書状	(正徳三年)六月廿四日	752
492	銭遣いについての口上書	享保六年六月五日	753
493	新金銀通用についての触状	(享保六年)七月	754
494	新金銀通用について銭遣い触状	(享保六年)閏七月	755
495	金銀銭引替えの触状	(元文元年)五月	756
496	式朱判通用による両替の触状	(安永二年)十二月	757
497	市中金銀相場定めについての触状	(天保七年)五月十四日	758

### 第四節 藩礼・預

史料番号	表題	日付	頁
498	銀札引替えについて家老松井帯刀宛書状	(正徳四年)午二月廿三日	759
499	札遣いについての触状	(享保十八年)四月	759
500	札遣いについての触状	(享保十八年)九月	760
501	享保十八年より札遣いの覚	(享保十八年～延享三年)	761
502	銀札通用の通達について村方請合い仕上げ帳	享保十九年寅ノ四月七日	765
503	銀札通用による年貢納め方請合い仕上げ帳	享保十九年寅ノ九月十六日	770
504	銀札通用停止による諸色値下げ請合い判印帳	元文元年十一月	774
505	預手形取締りについての触状	(天明六年)十月	775
506	岡札防ぎ方についての願	文政三年十月	776

### 第五節 町人の資金調達

史料番号	表題	日付	頁
507	歩入りの品請け方の覚	(寛政四年)子六月	778
508	歩入りの銭借り方願	(文化五年)辰三月	780
509	新式丁目寿平次貸金捨て方について褒美申請書	文政六年十一月	781
510	段山町寿平次貸金捨て方寸志について内意の覚	文政六年十一月	786
511	段山町寿平次貸金捨て方、熊本町分小前帳	文政六年未十二月	788
512	段山町寿平次貸金捨て方、河内村分小前帳	文政六年未十二月	796
513	歩入りの干把扱請け方について口上の覚	天保十一年二月	799
514	市中基手銭拝借について内意の覚	(天保十四年)十一月	802
515	小物成方諸上納銭の猶予についての願	安政五年九月	810
516	貸付け返納滞りについて小物成方督促書	(安政六年)正月	812
517	小物成方歩入り拝借差止めの覚	慶応三年卯八月	813

### 第六節 富講

史料番号	表題	日付	頁
518	富講の起こり	(元文二年～寛政十一年)	819
519	社寺の富講興行	(宝暦三～八年)	820
520	富興行余銭上納高の覚	(享和二年～明治四年)	826
521	富札譲切手形	文政十二年丑正月	833
522	御救米借用証文	天保二年卯十二月	834
523	借用証文	天保三年辰閏十一月	834
524	富札譲渡証文	天保四年巳四月	835
525	富札譲渡証文	天保四年巳八月	835
526	富札譲渡証文	天保八年酉正月	836
527	富札引当て借用添証文	天保九年戌正月	836
528	富札引当て借用添証文	天保九年戌七月	837
529	富札引当て借用証文	天保十一年子十一月	837
530	富札譲渡証文	天保十二年丑七月	838
531	富札買取りについて取為替証文	天保十二年丑七月	838
532	富札買取りについて取為替証文	天保十二年丑八月	839
533	富札売渡しについて取為替証文	天保十二年丑八月	840
534	富札譲渡証文	天保十二年丑八月	840
535	富札売渡し証文	天保十二年丑十一月	841
536	富札売渡し証文	天保十二年丑十一月	842
537	富札買取りについて取為替証文	天保十五年辰十二月	843
538	富札引当て借用証文	弘化二年十二月	843

史料番号	表題	日付	頁
539	借用銭年賦返済約束証文	嘉永三年戌十二月	844
540	富札返済約束証文	嘉永六年丑六月	844
541	借用銭年賦返済約束証文	安政三年五月	846
542	借用銭年賦返済約束証文	万延元年申十二月	846
543	富札譲渡証文	万延二年酉正月	847
544	借用証文	文久元年酉八月	847
545	借用証文	文久元年酉十月	847
546	借用銭月賦返済約束証文	文久二年正月	848
547	借用証文	文久二年戌十月	848
548	借用証文	慶応二年寅四月	849
549	富札引当て借用証文	慶応三年卯四月	849
550	富札興行について取為替証文	慶応三年卯九月	850
551	富札引当て借用証文	慶応三年卯十月	851
552	借用証文	慶応四年辰七月	852
553	富札引当て借用証文	(年欠) 戌正月	852
554	借用証文	(年欠) 午六月六日	852
555	借用添証文	(年欠) 戌七月	853
556	借用証文	(年欠) 卯十二月廿七日	853

## 第六章 町人の生活

### 第一節 町人の生活

史料番号	表題	日付	頁
557	熊本町切支丹御改帳類入櫃目録	寛文十三年九月廿三日	854
558	紙屋喜兵衛屋敷入質の覚	寛政二年戌十一月	855
559	国中諸運上のうち櫛方納め分	文化二年丑閏八月	858
560	町用銭の日貫	(文化十四年～天保十四年)	859
561	鉦人組根帳(抄)	天保十一年子七月	860
562	市中成立ち日貫講の仕法	(嘉永二年～安政元年)	862
563	鉦株改帳	万延元年申五月	863
564	鉦株備根帳(抄)	万延元年申五月	865
565	町用銭控帳(抄)	文久四年子正月	866

### 第二節 町人の寸志

史料番号	表題	日付	頁
566	浅間山御救い手伝い御用について寸志の願	天明四年	869
567	梅洞新地明倭寸志	(文化五年)六月	921
568	御軍備調達金寸志(抄)	慶応三年卯五月	922

### 第三節 災害と救恤

史料番号	表題	日付	頁
569	千反畑焼け跡の御小姓屋敷割替え	(元禄四年八月十四日)	964
570	手取・敷内火事類焼の面々	享保十四年四月廿八日	964
571	白川筋洪水並びに橋流れ落ちの次第	天明六年午七月	970
572	城下新町・古町打崩し	(天明七年)五月	975
573	町在へ御才覚銀申渡し	寛政九年巳九月	977
574	川尻町洪水	文化十二年七月	982
575	市中御救い御備えとして御米蔵建て方	(文政六年)十二月	985
576	細工町懸の者へ作事料・基手銭貸与	文政九年十一月	989
577	西古町懸窮民救恤根帳(抄)	天保六年未正月	993
578	一衣不着者取救い	(弘化元年～明治二年)	996
579	大風による破損所	(万延元年)六月	1015

## 第七章 交通と運輸

### 第一節 川口津口番所

史料番号	表題	日付	頁
580	高橋川口御番所支配の定式	元禄四年四月	1019
581	高橋川口御番所付け村設定についての覚	(宝永三年)二月	1027
582	津口・陸口改め役商人名付	(昭和六年)正月	1030

### 第二節 御船手と廻船

史料番号	表題	日付	頁
583	島原の陣徴用の浦舟帳	寛永拾五年卯月十一日	1033
584	川尻船頭・加子並びに船数の覚	亥ノ三月廿日	1045

史料番号	表題	日付	頁
585	人・船往来手形についての達	(元禄三年)十二月廿三日	1047
586	船渡定書についての覚	(元禄十四年)巳十二月	1047
587	鶴崎・川尻船数の覚	(宝永三年)十一月	1050
588	川尻町和泉屋諸国客船改め帳	天明六年	1054
589	川尻・鶴崎両船手改革についての意見書	(明治二年)三月	1081

### 第三節 街道の様態

史料番号	表題	日付	頁
590	領内街道の道筋・里程	(年月日欠)	1087
591	熊本町新一丁目札の辻よりの口々道程	(年月日欠)	1089
592	熊本町諸口からの道付手鑑	(年月日欠)	1090

### 第四節 宿場・人馬継立

史料番号	表題	日付	頁
593	川尻町駄賃定	寛(永)十ノ三月朔日	1103
594	川尻町本陣薩摩屋口上の覚	(宝永元年)申三月廿一日	1103
595	小倉路参勤の諸郡出銀についての達	(宝暦八年)寅十一月	1105
596	島津家通行時の乗掛馬について口上の覚	(宝暦十一年)六月	1106
597	巡見使通行時の宿馬手配の覚	(宝暦十一年)六月	1107
598	旅人逗留日限書付	明和八年卯八月	1108
599	川尻町御用建馬持共返納延期願	天明二年寅十二月	1109
600	熊本町より川尻町迄の俵物駄賃の覚	(寛政二年)戌四月七日	1110
601	熊本町中御用馬差出しの覚	(文化九年)十一月十八日	1111
602	千葉城人馬所人馬立しらべ帳	文久二年戌閏八月	1112
603	太守様休泊について入用雑費書上げ覚	文久四年三月	1116
604	人馬支配心得についての覚	戌六月九日	1117
605	植木宿馬口牽名付	戌六月廿三日	1118

### 第五節 飛脚

史料番号	表題	日付	頁
606	熊本・大阪間飛脚についての覚	(享保九年)二月	1120
607	鶴崎筋継ぎ飛脚について吟味の覚	宝暦九年六月	1122
608	継飛脚継所の覚	(年月日欠)	1130

平成8年3月30日発行